# 令和６年度（2024 年度）ヒグマ生息密度調査実施地予備調査事業委託業務処理要領（案）

この要領は、北海道（以下「委託者」という。）が、【契約の相手方】（以下「受託者」という。）に委託する「令和６年度（2024 年度）ヒグマ生息密度調査実施地予備調査事業委託業務」を円滑かつ効率的に処理するために必要な事項を定める。

## 第１　目的

本業務は、令和７年度以降に実施を予定しているヒグマ生息密度調査（ヘア・トラップ調査）並びに新たな調査手法の検討検証に係る調査実施地域及び調査トラップ設置位置の選定を行うことを目的とする。

## 第２　業務内容

本業務は、生息数推定のための科学的データの１つとして朱鞠内湖周辺地域を対象にヘア・トラップ法を実施し、生息密度推定を推定することとしており、令和７年度以降に実施予定のヘア・トラップ調査地を選定するとともに、詳細なトラップの位置を選定する。

### １　調査地の選定

朱鞠内湖周辺地域の森林を対象に、ヒグマの生息状況、森林環境の状況、路網等の基盤整備の状況等に関する資料を基に、概ね 300km$^2$ 程度の面積からなる調査地を選定する。

### ２　ヘア・トラップ設置位置の選定

調査地で現地調査を行い、ヒグマの行動や環境利用、森林環境等の観点から効果的なヘア・トラップの設置位置を選定する。ヘア・トラップの設置位置数は概ね 80 か所程度とし、選定にあたっては、次の点に留意すること。ただし、80 か所以上の選定を妨げるものではない。

（１）調査対象地域内において選定したヘア・トラップ設置位置に偏りが生じないよう、満遍なくヘア・トラップ設置位置を選定すること。目安のトラップ間隔として、隣接する候補地と 1km 以上離すこととする。

（２）道路が利用できて到達容易な場所をヘア・トラップ設置位置として選定すること。
　ただし、入林者が接近することによる危険を防止するために。林道から目につきづらい場所をヘア・トラップ設置位置として選定すること。

（３）選定したヘア・トラップ設置位置の地面がなるべく平坦で凹凸がなく、周囲 12m 程度の多角形トラップの設置が可能なスペースがあること。

（４）ササが高密度で生育している場所を避けること。

（５）ヘア・トラップ設置位置の選定にあたっては、添付の「遺伝子マーカーによるヒグマ生息密度推定マニュアル」を参考にすること。

（６）ヘア・トラップ設置位置の選定にあたっては、専門家の助言を受けること。

### ３　ヘア・トラップ設置位置の記録

最終的なヘア・トラップ設置位置については、別紙「調査日誌」により、地図、周辺写真、緯度・経度などについて記録する。

調査日誌はあくまで例示であり、内容を準じていれば代用も可能とする。

## 第３　業務の実施方法

### １　業務処理計画書の作成

受託者は、現地調査について、実施期間、実施場所、実施者、実施内容、実施工程などをまとめた業務処理計画書を作成の上、道に提出するものとする。（様式任意）

２　業務の実施

受託者は、業務処理計画に記載した内容に基づき業務を実施することとし、実施内容等を変更する場合は、道と協議を行い、業務処理計画書を変更した上で実施するものとする。

３　その他留意事項

受託者は、現地調査等の実施に係る関係法令に基づく許認可等を道があらかじめ取得している場合には、それを証明する書類等を携行の上、許認可等の条件を遵守して現地調査等を実施するものとする。

受託者は、業務期間中に緊急対応を要する事案が発生又は判明した場合は、その都度、速やかにその内容を道に報告の上、対応策について、道と協議しなければならない。

第４　業務期間

契約締結の日～令和７年（2025 年）２月 28 日（金）まで

第５　成果品

本業務を完了したときは、速やかに次の成果品を提出するものとし、提出の際には、その内容を説明すること。

１　成果品及び提出部数

（１）報告書【紙媒体】　　２部

（２）調査日誌（第２の３で作成した様式）【紙媒体】　２部

（３）ヘア・トラップ設置位置の全体位置図【紙媒体】　２部

（４）ヘア・トラップ設置位置情報（トラップ ID・緯度・経度・傾斜・ササ密度・適度）である Microsoft Excel CSV 形式及び GIS データ（shp ファイル形式）【電子媒体】

（５）上記（１）～（４）を格納した電子データ（DVD-R または SD カード等）【電子媒体】　一式

２　仕様・体裁等

報告書及び調査報告様式については、A4 版とし、北海道グリーン購入基本方針に基づいた用紙を使用して製本またはファイル綴じ（写真、図面等はカラーとする。）とすること。

３　提出期限

令和７年（2024 年）２月 28 日（金）

第６　その他

１　注意事項

（１）安全管理体制の構築

事業の実施に当たっては、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図等を整備し、安全管理体制を構築すること。

また、業務の実施にあたっては、地域住民等の第三者の安全の確保に努めること。

なお、事業の実施に当たり、事故等が発生した場合は、速やかに業務担当員に連絡すること。

（２）電波法の遵守

事業において、無線機を使用する場合は、電波法を遵守すること。

２　連絡調整

業務の実施にあたり、関係法令等により届出や申請が必要な場合には、業務担当員と事前に調整し、手続きを行うこと。

また、やむを得ず調査の一部が遂行できない又は遂行できないことが見込まれる場合は、速やか

に業務担当員と協議し、その指示に従うこと。

3　契約内容の変更

荒天や災害等の発生などにより、委託期間内に業務の一部が遂行できない場合は、業務担当員と協議の上、委託料等の契約内容を変更することがある。

4　実績報告書

委託契約書により提出する実績報告書の処理成果として、成果品である報告書及び調査報告様式、電子データの種類（DVD-R または SD カード等）について記載し、本業務を完了したときは、速やかに提出すること。

5　著作権等の取扱い

（1）成果物及び構成素材に関する第三者の著作権その他の権利についての交渉、処理は受託者が納品前に処理を行うこととする。

（2）本事業に関する著作権（制作過程で作られた素材等の著作権も含む。）その他の権利は、全て北海道に帰属するものとする。

6　その他

（1）機密情報及び個人情報

受託者は、機密情報及び個人情報を善良なる管理者の注意義務をもって管理するものとする。

（2）その他

本要領に疑義や業務を履行し難い事由が生じたとき又は記載のない細部については、業務担当員と速やかに協議し、その指示に従うこと。

# 令和６年度(2024年度)ヒグマ生息密度調査実施地予備調査事業委託業務　調査日誌

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **調査日** | | 月 | | 日 | **調査者** | | ※名字のみ |
| **トラップID** | | | | | | | |
| **緯度** | | | | | **経度** | | |
| **傾斜** | | | **ササ密度** | | | **適度** | |

※WGS84

※※傾斜は、なし,超緩,緩,中,急の5段階評価

※※※ササ密度は、なし,疎,中,やや密,密の5段階評価

※※※※適度は、ヘア･トラップ設置に最も適している地点を5として評価

**○設置場所位置図（設置箇所候補地点を●で表示すること）**

**○設置箇所候補地点の風景（写真を貼付）**

# 令和６年度(2024年度)ヒグマ生息密度調査実施地予備調査事業委託業務　設置位置情報

| トラップID | 緯度 | 経度 | 傾斜 | ササ密度 | 適度 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |